

授業科目 公衆衛生看護活動演習 II

【担当教員名】 杉本 洋、宇田 優子、小山 歌子、 稲垣 千文、小林 房代、磯部 直子		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 地域において個人や集団を対象として展開される保健指導の技法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人々の健康行動の特徴と効果的な保健指導を説明できる。 2. 個人および集団を対象とした保健指導計画を立案する。 3. 既習の理論を活用し、対象に合わせた保健指導を展開できる。 4. 実施した保健指導の評価方法を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1-2	家庭訪問、個別健康相談演習	1-4	講義・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
3-4	母子保健、高齢者保健活動演習	1-4	講義・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
5-6	母子家庭訪問演習：家庭訪問の実際	1-4	講義・演習、担当：杉本 洋 他		
7-8	健康教育演習1：健康教育の企画の実施	1-4	講義・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
9-10	健康教育技術演習2：健康教育実施に向けての準備（企画）	1-4	演習・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
11-12	健康教育技術演習3：健康教育の媒体作成、リハーサルなど	1-4	演習・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
13-14	健康教育技術演習：健康教育実施	1-4	演習・グループワーク、担当：杉本 洋 他		
15-16	健康教育評価・まとめ	1-4	講義、担当：杉本 洋 他		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	公衆衛生看護活動論技術演習	岩本里織、北村真弓、標美奈子	クオリティケア	2010・2,940円＋税	
	公衆衛生看護学	津村智恵子、上野昌江	中央法規	2012・3,600円＋税	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況および演習態度 30%程度 レポート、提出課題 70%程度		【履修上の留意点】			